

## 「日本安全教育学会第23回宮城大会」を開催しました（2022/9/10-12）

テーマ：安全教育，日本安全教育学会，災害安全  
場所：宮城教育大学青葉山キャンパス2号館

2022年9月10日～11日、日本安全教育学会主催、災害科学国際研究所の共催、文部科学省ほかの後援により、宮城教育大学青葉山キャンパスにおいて、日本安全教育学会第23回宮城大会「学校安全の充実に向けた教職員の養成と育成」が対面形式で開催されました。災害安全（防災）を中心に、安全教育に関わる実践者や研究者等、約80名が参加しました。防災教育実践学分野の佐藤健教授、桜井愛子クロスアポイントメント教授、定池祐季助教（イオン防災環境都市創生共同研究部門との兼務）が、実行委員として企画から運営に至るまで深く関わりました。

平塚真一郎校長（東松島市立矢本第一中学校）による特別基調講演「未来の命を守るために～東日本大震災大川小学校事故に学ぶ～」、小田隆史准教授（宮城教育大学防災教育研修機構）による年次会長講演「教員養成課程における防災教育の深化を願って～宮城教育大学11年半の軌跡～」をはじめ、29題の一般口演、シンポジウム①「学校防災と教職員の養成と育成—先進事例に学ぶ」、シンポジウム②「次世代の学校安全の担い手との対話～災害に強い未来社会の創造に向けて～」が行われました。

佐藤健教授がコーディネーター、桜井愛子教授がコメンテーターとなったシンポジウム②の次世代を担うパネリスト（敬称略）は以下の通り。

### パネリスト

- 近野 桃花（東北学院大学・1年生）
- 及川 拓海（東北学院大学・2年生）
- 村上 真綺（宮城教育大学・2年生）
- 黒田 輝（鶴岡市立朝陽第一小学校・教諭）

### コーディネーター

佐藤 健 教授

### コメンテーター

桜井 愛子 クロスアポイントメント教授

また、宮城大会オプション企画として、11日（日）～12日（月）にかけて女川・石巻訪問への巡検バスツアーも実施されました。特に、12日（月）には平野勝也准教授（空間デザイン戦略研究分野）がガイドとなった女川駅前周辺のまち歩き巡検も実施されました。

なお、日本安全教育学会の年次大会の東北開催は、第11回宮城大会（東北大学）、第15回宮城大会（東北工業大学）、第20回山形大会（山形大学）に続いて、今回の第23回宮城大会（宮城教育大学）で4回目となりました。東日本大震災の被災地からの学びと研究成果の発信の蓄積を重ねています。



一般口演発表の様子



シンポジウム①の様子



女川巡検の様子